

2016.2月

品質月報

Monthly Quality Report

2月号 INDEX

PAGE 3 ……品質方針

PAGE 4 ……今月のトピックス

★ 今月のテーマは…
観光立国「日本」の課題

PAGE 5 ……品質状況

市場不良率推移 クレーム発生状況



SANSHIN GROUP



品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動をおこない、社会へ貢献してまいります。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを厳守し、お客様に信頼される品質の提供につとめてまいります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守をとおして品質の向上につとめてまいります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネージメントレビューをおこない、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかってまいります。

平成26年10月1日
サンシングループ

石井 宏宗



今月のトピックス

観光立国「日本」の課題

■観光需要拡大に追いつかず

日本政府観光局がまとめた2015年の訪日客数(推計値)は14年比47%増の1973万人に伸びた。年2000万人達成が目前に迫り、経済活性化効果が期待されるものの、ホテルやバスの供給が不足。需要の増加に人材の育成も追いつかない。

■バスの事故

1月15日に長野県軽井沢町の国道で起きたスキーツアーバスの転落事故は死者が15人に達した。バス事故が多発する背景には運行会社の安全管理の甘さに加えて、運転手や車両の不足が挙げられる。政府が掲げる「観光立国」の足かせになりつつある。

事故を起こしたとみられるバスが蛇行している映像が事故現場の約250メートル手前の道路に設置された国土交通省の監視カメラに映っていたことが19日、同省への取材で分かった。

バス運行会社が事故時にハンドルを握っていたとみられる運転手について、経験不足を不安視し一般道を走らないよう指示していたことが分かった。入社後の大型バスの運転経験が乏しく、技量不足のまま運転していた可能性がある。



■新制度で人手不足に拍車

長距離バス事業者が過当競争にさらされている姿が浮き彫りになってきた。運転手不足は深刻になり、運営コストが上昇。にもかかわらず、価格競争は収まらない。

観光やスキーツアーなどを扱う貸し切りバス事業は2000年規制緩和で免許制から許可制に変わったこともあり事故を起こした貸し切りバス事業の事業者数は2014年度で約4400社ある。都市間を結ぶ定期便を運行する高速バス事業者も加えると、それ以上の社数になる。

12年に関越自動車道での事故があり、翌13年に新制度が始まり夜間に1人で運転できる距離が短くなった。必要とする運転手は増えたが「実際は人手不足はより深刻になっている」



「安心・安全」

海外から見ると、日本は、安全で安心な国のイメージがある。

その安心と安全という信頼が失いかねない昨今のバス事故である。

何故、仕事の根底にある安心・安全をおろそかにしてでもバスは走るのか？

コスト競争、人材不足等々といういろいろ挙げてきましたが、もしかしたら気持ちの

中に「まず、問題ないだろう」という自分勝手な気持ちがあったのかも知れません。

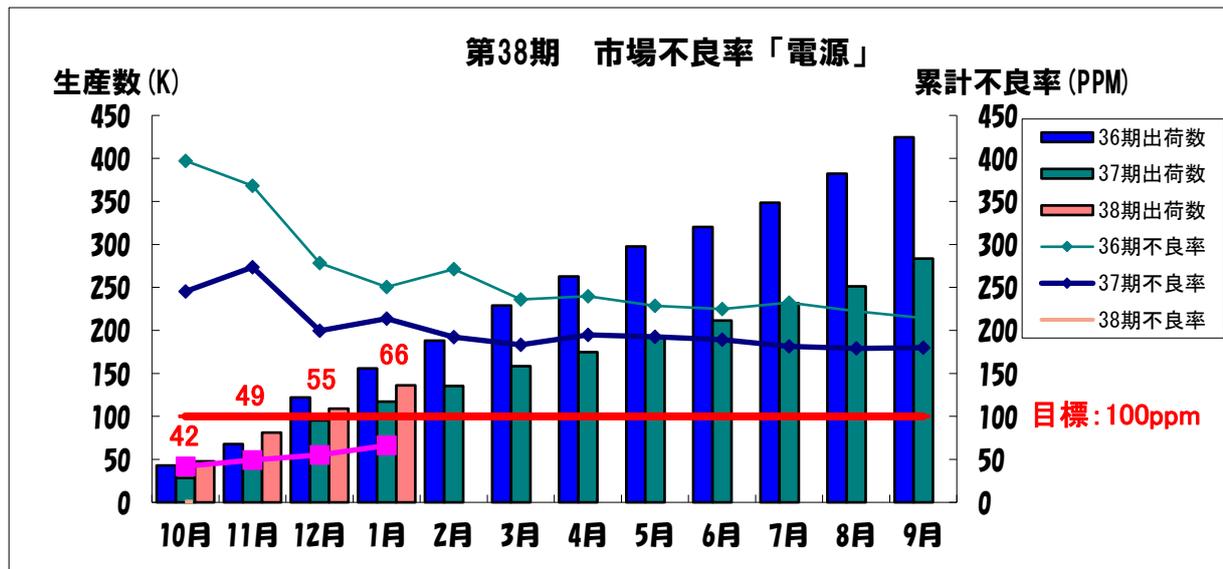
このケース場合、立ち止まる「勇気」が必要かと思えます。

今月の品質状況

38期の旗印

納入不良率 目標.....100ppm

38期の累計不良率は66ppmです。
 市場不良累計 : 9件 客先クレーム : 0件



クレーム発生推移 「クレーム」の定義: 当社製品がエンドユーザー様にて使用中に 当社の責任による原因で不具合が発生し、見直し・改修の場合

